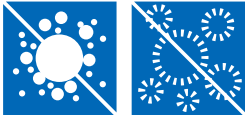


抗菌性/防カビ性



抗菌性 防カビ性

衛生性が求められる施設で、菌やカビの繁殖を防ぐ床材

医療施設や各種の福祉施設、食品加工工場、研究所などの施設では、食中毒や感染症対策として、菌やカビの繁殖を抑制する床材が求められます。

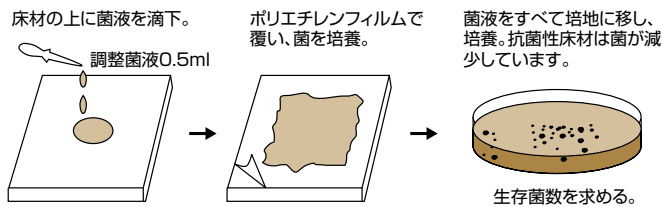
抗菌性床材は、大腸菌や黄色ブドウ球菌などの細菌の増殖を抑制し、食中毒のリスクを軽減します。防カビ性床材は、感染症やアレルギーの原因となる可能性のあるアオカビやコウジカビなどのカビの増殖を抑制します。これらの機能を有する床材を使用することで、衛生的な環境を保つことができます。

抗菌性能の評価

試験方法

JIS Z 2801に準拠

菌液を床材上に滴下し、菌液が乾かないようにポリエチレンフィルムで覆って、24時間静置します。そして菌液を回収し、その菌液中の菌数を計測します。

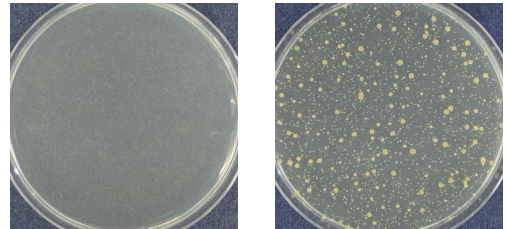


【抗菌効果】

抗菌の効果は、抗菌活性値という指標で表します。抗菌効果があると言えるものは、この値が2.0以上のものです。抗菌活性値2.0以上では、試験結果で菌の数が1%以下に減少しています。非抗菌性ビニル床シートでは、この試験において大腸菌の抗菌活性値は0.1を指し、菌が80%近く生存しており、抗菌効果がないと評価されます。

試験結果

試験菌：黄色ブドウ球菌



抗菌性ビニル床シート

非抗菌性ビニル床シート

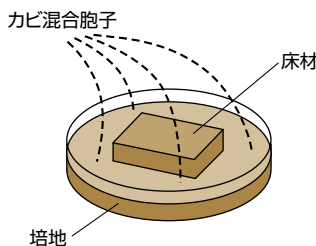
製品名	JIS Z 2801	
	抗菌活性値	
	大腸菌	黄色ブドウ球菌
ロンリウム プレーン	>2.0	>2.0
ロンリウム ナチュラル	>2.0	>2.0
ロンプロテクト マーブル	>2.0	>2.0
ロンプロテクト インレイド柄	>2.0	>2.0
ロンクレオ	>2.0	>2.0
ロンフォーム CT	>2.0	>2.0
サニタリウム	>2.0	>2.0
ロンレイドAS	>2.0	>2.0

防カビ性能の評価

試験方法

JIS Z 2911に準拠

培地の上に、床材の表面が上になるように床材を置き、その上にカビ混合胞子をふりかけカビが好む条件で培養します。防カビ性の床材にはカビが発育しません。



試験結果

カビの発育が見られない

カビ

防カビ性ビニル床シート

製品名	JIS Z 2911	
	プラスチック製品の試験B法	
	かびの発育抑制効果	
ロンリウム プレーン	なし	
ロンリウム ナチュラル	なし	
ロンクレオ	なし	
ロンフォーム CT	あり	
サニタリウム	あり	
ロンレイドAS	あり	